



正木文男 議員 (阿波清風会)

合併後の各部において取り組んできた重点施策と、合併特例債の有効活用を視野に入れた、今後取り組むべきと考える重点施策は、(限られた時間で効率よく実施するためには、全体計画が必要と考えるが)。

各部の主な施策は、行財政改革の推進、CATV事業、庁舎建設、防災体制の充実、子育て支援の充実、特定健診及び保健指導事業の推進、乳幼児医療費助成、地域支援事業、中山間地対策、道路交通網の整備、橋梁の長寿命化事業、学校施設整備事業等であり、健全な財政運営を図りながら取り組む。

教育基本法が約六十年ぶりに改正され、道徳教育や公教育の推進等が盛り込まれたが、それらに配慮した教育振興計画策定への取組は、また歴史教育の一環として、それぞれの地域の忠魂碑について訪問学習の場としてはどうか。

生きる力と豊かな心を育む学校教育の推進、豊で活力ある生涯学習社会の構築等を目指し、教育振興計画を立てていく。忠魂碑については、今後県教委とも協議し検討していきたい。

徳島中央広域連合の負担金の動向と職員の状態は、旧町間の偏在があるのではないかと。平成二十年度の阿波市の負担金は五億九千四百四十四万円、職員数は事務局を含め百二十六名で、旧町間の偏在はある。



武田 矯 議員 (志政クラブ)

災害時の危機管理について、北島町で進めているケーブル

テレビにつなぐキャットフィッシュは、地震が来る前に音声で放送が出来るようである。

地震の発生検知から到達までに数秒から数十秒かかるという間に警戒情報などを発すること、被害を減らすと考えると考えられているものである。市としては、そういった対応を現段階ではしていない。今後見直しの中で検討していきたいと考えている。

キャットフィッシュは親子あり、親機は一万三千円、子機は八千円、工事費は要らない。親子で二万円と聞いている。緊急地震速報事前感知について、メリットとデメリットがあるように、防災計画と合わせて慎重に内部で検討したい。

温暖化対策について、農業は年間を通じて農地を100%活用。また、市内の小中学校の全生徒に温暖化についての教育を。常にこの問題について実施している。電灯、水道、給食の残滓を少なくするなど省エネに努めている。中学校では教科の中で取り組んでいる。また農地銀行活動を活性化し、遊休農地の掘り起こしに力を入れたい。



吉田 正 議員 (阿波みらい)

現在市が推進している各種事業に対応している専門職員数と、各課にどう配置されているか。特に公共工事関係に対応出来る専門技術職員について。

工事関係、特に土木建築の専門学科卒業と、技術資格・免許取得状況は、土木関係が十七名、建築関係が三名、他の工業専門関係職員が三名で、各課の専門職員の状況は、事務分掌に関係なく配置されている。

今後市が推進する公共工事に関し、十月からの電子入札の

試行と、平成二十年度の工事請負に関する各種要綱の見直し計画について、今後三年間、国の特別措置により耐震事業に高率補助が決定され、本市においても事業量が増すと予想するが、市内業者育成に、大規模工事についてはJV(共同企業体)方式を取り入れてはどうか。

阿波市内の業者と特定建設業許可を持つ市外の業者とのJVは可能と考えられ、今後十分調査し、入札制度改善検討委員会、最低制限価格も含めて十分検討する。



篠原啓治 議員 (市民クラブ21)

阿波市消防団の無線について統一すべきでないか。

電波法の許可期限があるが、統一に向けて特例償も含めて検討させていたかどうか。

音声告知器は、防災行政無線と同じ機能なのか。

音声告知器は、停電や、電柱が倒壊し光ケーブルが切断した場合などは使用できない。

柿原堰周辺の観光開発の進捗状況は。

国交省より連絡があり、左岸堤防管理堤を除いて幅員約4m、延長約100m、側帯を駐車スペースとして有効活用をしてもよいと内諾をいただいた。

耐震補強緊急五か年計画の情報開示と、実行可能なのか。

二十一年度は阿波中、土成小、林小、久勝小、二十二年度は一条小、柿原小、八幡小、市場小、大俣小を計画。完成している伊沢小を含め計十二校を計画。全体計画の全部を実行するのは非常に困難である。

市外業者にも頼らざるを得ない案件において、市内業者の育成をどう図るのか。

大型発注工事について、県の格付、発注の金額、これをク

リアするのにはどうしたらいいか、検討だけでは困るといふことは十分承知している。



木村松雄 議員 (志政クラブ)

熊谷川、九頭宇谷川の抜本的な改修を県に強く要望する考えはないか。

熊谷川については、現在改修工事の延長が三百六十五メートル引き続き用地取得に努力している。国道三十八号線周辺から事業計画の調査、検討を進めていく。また、九頭宇谷川については、危険か所、漏水か所等は修繕工事に対応していく。今後県に要望していく。

県道船戸切幡上板線の幅員の狭い危険な所、バイパスの未完成部分の対応は。

県への要望をし、事業完成に向け努力したい。

土成中学校横道線通学路の早期完成は。

条件が整い次第、五年間の交付金事業として国に申請していく。

土成町の公民館にも職員を配置するべきである。

公民館は、現在四町間に格差があり、是正を考えた。

新庁舎建設用地に、阿波農業高校跡地を県に申し入れをする考えはないか。

私共も候補地の一つということ等、検討をしてもらって、いろいろ詰めをしていきたい。

活動状況報告

学校給食の先進的取り組みについて視察研修(高知県南国市) 文教厚生常任委員会

平成20年7月16日、文教厚生常任委員、教育委員など計16名が参加し、学校給食における地産地消の推進、食育の推進等の先進的取り組みについて調査するため、高知県南国市の行政視察を実施し、現地で研修を受けました。

- ＜主な視察研修事項＞
- 学校給食改革への取り組み
 - 食べ残しゼロ
 - 地域住民との連携
 - 地元食材の活用
 - ～中山間地米を自校炊飯による完全米飯給食～
- 教育のど真ん中に「食育」



南国市役所での研修

〈議会だより編集雑感〉
 六月議会は、二十五件の議案が提出されました。そのうち、専決処分の承認を求めた案件が八件、報告案件が三件で、全議案の四十四%に当たる十一件が市長より専決処分及び報告事項として提案され、審議の結果承認されました。専決処分事項については、事務処理上やむを得ないと認識しますが、議会への事前説明が求められるという声がありました。

今年には四年に一度のオリンピックが北京で開催され、水泳の北島選手をはじめ日本選手活躍は、世界に大きな夢と感動を呼びました。阿波市からもオリンピック選手が育つことを期待しています。
 (木村)

平成20年第2回(6月) 阿波市議会定例会 議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成19年度阿波市一般会計補正予算(第5号)について)	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成19年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について)	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(平成19年度阿波市老人保健特別会計補正予算(第3号)について)	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(平成19年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第5号)について)	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(平成19年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について)	承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市税条例の一部改正について)	承認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市国民健康保険条例の一部改正について)	承認
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市手数料徴収条例の一部改正について)	承認
報告第1号	平成19年度阿波市一般会計継続費繰越計算書について	承認
報告第2号	平成19年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	承認
報告第3号	平成19年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	承認
議案第43号	平成20年度阿波市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第44号	平成20年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第45号	平成20年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第46号	阿波市教育委員会委員定数条例の制定について	原案可決
議案第47号	徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
議案第48号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第49号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第51号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第52号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第53号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第54号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第55号	固定資産評価委員の選任について	同意
発議第4号	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書提出について	原案可決